

山梨県神社庁報

かみかね

祭日には国旗を掲げましょう



11月3日 文化の日
11月23日 勤労感謝の日
1月1日 元日
1月9日 成人の日

令和4年秋号 (第199号)



山梨県護國神社 (みたま祭)

令和四年度山梨県神社関係者大会 次第

開場
第一部 神宮大麻暦頒布始祭

次第

- 一、修祓
- 一、斎主が一拝す
- 一、神饌を供す
- 一、斎主祝詞を奏す
- 一、斎主玉串を奉りて拝礼
- 一、庁長玉串を奉りて拝礼
- 一、総代会長玉串を奉りて拝礼
- 一、来賓代表玉串を奉りて拝礼
- 一、神饌を撤す
- 一、斎主が一拝す
- 一、神宮大麻並び暦頒布奉仕者代表に授与
- 一、各退出

神宮大麻暦頒布始祭終了

第二部 神宮大麻全国頒布百五十周年記念講演

休憩

第三部 神社関係者大会

次第

- 一、開式の辞
- 一、神宮遙拝
- 一、国歌斉唱
- 一、敬神生活の綱領唱和
- 一、庁長式辞
- 一、総代会長挨拶
- 一、庁務報告
- 一、功績表彰
- 一、経過報告
- 一、功績表彰

功績表彰

山梨県神社庁規程表彰

山梨県神社総代会規程表彰

表彰状伝達

神社本庁規程表彰

全国神社総代会規程表彰

神宮大麻全国頒布百五十周年記念表彰

長寿の祝い記念品贈呈

来賓祝辞

被表彰者謝辞

萬歳奉唱

閉式の辞

神社関係者大会終了

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培ひ、太平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて向うところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩に感謝し、明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること



式

辞

庁長 小佐野 正 史

本日ここに、令和四年度山梨県神社関係者大会を開催いたしましたところ、神社本庁統理様、神宮大宮司様をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜り、県内神社関係者の皆様には、繁忙中にも関わらず多数のご参加をいただき斯くも盛大に挙行できますことは、誠にご同慶の至りに存じ、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

畏くも天皇陛下におかせられましては天機愈々麗しく、日々公務にあたりご精励遊ばされておられますこと慶賀に存じます。また、神宮のことに大御心をつかわされますことは、誠に有り難く畏き極みであります。皆様と共に皇室の御安泰と弥栄をお祈り申し上げます。

本宗と仰ぐ神宮におかれましては、昨年の両宮参拝者数は三八〇万人余りとなり、コロナ禍の世相、一昨年に続き大幅な減少となりました。恒例祭、日々の祭事は恙無く肅行されており

ますことはご同慶の至りです。神宮大麻暦頒布につきましては、昨年、関係者各位のご尽力を賜りましたが減体となり残念な結果でした。長引く新型コロナウイルスの影響で頒布活動も大変厳しい状況下にあるものと拝察しますが、本年は神宮大麻全国頒布百五十周年の節目の年。これを契機とし一層の神宮奉賛と次期遷宮の啓発に努めてまいれる所存であります。各支部で増体頒布の機運を盛り上げ、尚一層のご尽力をお願い申し上げます。

世の中は人口減少や少子高齢化、長引く新型コロナウイルス感染症により、県内各地の祭礼も規模縮小、中止を余儀なくされて早三年となりますが、未だ見通しが立ちません。人々の価値観と生活の有り様が劇的に変化し続ける今、斯界を取り巻く現状は厳しさを増し、神社護持に大きな影響が及ぶことが憂慮されます。私共関係者は一意専心、神社神道の興隆に邁進する

秋と存じます。

神社が地域で何か役割を果たしていくには、何をすれば最適かを地域ごとに計り、関係者一丸となつて地道に活動していくことが必要でありましょう。神社を、地域を、お祭りを、元気にしていかなければなりません。コミュニティの中心に神社があり、祭りを中心に人々が繋がる。神様への感謝を忘れることなく、大御心をいただきながら日々の生活に励む、そのような人々が地域に溢れる姿を取り戻したいのです。

昨年、神社庁創立七十五周年の節目を迎えました。今、新たな一歩を歩み始めております。七十五年の間に培われた歴史と伝統を支えに、神社庁が本来果たすべき役割を考え、五年先、十年先を見据えた展望を描きつつ、更なる発展のために力を尽くして参りたく存じます。

本日功績表彰をお受けになられた方々に対し、衷心よりお祝いを申し上げます。また、この一年間に物故されました関係各位のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

結びに、関係神社のご発展と、皆様方のご健勝ご活躍をお祈り申し上げます。



ごあいさつ

山梨県神社総代会

会長 小 尾 武

山梨県神社総代会会長に就任させて頂きました。総代会の運営を始め、何をすべきか、まだまだ不安でいっぱいですが小佐野庁長を始めとする神社庁の理事の皆様・坂本宗正副総代会長を始めとする総代理事の皆様にお支え頂きながら職務を遂行してまいりたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

中田前会長、中込前々会長が取り組んでこられました国旗掲揚推進活動は、各地においてその成果が見られるようになり、皆様の認識が高まってきたように思えます。また不活動神社対策につきましても、多くの実例を重ねてきており、一つの方向性が見えてきたように感じます。さて、令和の御代になり早四年が経とうとしておりますが、新型コロナウイルス感染症がまだまだ猛威をふるい、我々神社界も多大なる影響を受けており

ます。神社の祭典等も規模を縮小せざるをえない状況であり、このような状況が当たり前になってしまふことに憂慮しております。また最近ではウクライナ情勢等、世界の平和と秩序が崩されており、改めて「敬神生活の綱領」に書かれている内容に思いを致し、神様のご神徳をいただきながら我々は生かされているんだとの思いを強くしております。各々が神社の総代として恥じ無い行動を取らなければいけないと思います。そうする事が参拝者の増加に繋がると思っています。

また本年は神宮大麻全国頒布百五十周年の節目の年でもありますので、山梨県に於いても神宮大麻頒布推進に積極的に取り組み、若い世代にも幅広く増体を図っていききたいと思っております。皆様のご協力をお願い申し上げます。

神宮大麻暦頒布始祭・全国推進会議 神宮大麻全国頒布百五十周年記念表彰授与式

参事 飯 田 直 樹

令和四年の神宮大麻暦頒布始祭が九月十七日に伊勢の神宮で斎行された。新型コロナウイルス感染症の拡大に鑑みて、参列者は鷹司尚武統理及び各都道府県神社庁長のみ限定された。

神宮大麻暦頒布始祭は午前十時から内宮神楽殿で斎行となり、久邇朝尊大宮司以下祭員が着座し、修祓に続いて神宮大麻・暦と神饌が供された後、亀田幸弘少宮司が祝詞を奏上した。

久邇大宮司以下祭員が八度拝を行い、鷹司統理の玉串奉奠にあわせて参列者一同が拝礼した。撤饌の後、神前から撤下された神宮大麻・暦が久邇大宮司から鷹司統理に授けられた。その後、祭員が退下し、引き続き神社本庁奉納の大々御神楽が奉奏された。

神宮大麻全国頒布百五十周年を記念しての表彰式は、多くの表彰者が出席して大規模に開催される予定でしたが、コロナ禍の影響で規模が大幅に縮小さ

れ、頒布始祭参列者のみで表彰式が挙行された。式は内宮参集殿において午前十一時四十五分に開式、国歌黙唱に続いて神社庁表彰の発表があり、代表の富山県平尾旨明庁長に久邇大宮司から表彰状が、亀田少宮司から記念品が手渡された。

続いて、久邇大宮司と鷹司統理がそれぞれ挨拶され、被表彰者を代表して平尾庁長が謝辞を述べられ閉式となった。

神宮大麻・暦の交付数や本庁施策の説明等を行う神宮大麻暦頒布秋季推進会議をはじめとする各種会議・会合は今年も中止となり、資料の送付を以て報告となった。



庁 務 報 告

事 業

- 1、神宮大麻奉斎推進
- 2、神宮参宮運動促進
- 3、神殿三大祭斎行
- 4、神宮新穀感謝祭奉賛
- 5、靖國神社公式参拝実現運動実施
- 6、北方領土返還運動継続
- 7、各種研修
- イ、現任神職研修会
- ロ、総代研修会
- ハ、雅楽研修会
- ニ、関東地区中堅神職研修会
- ホ、女子神職研修会
- 8、一都七県神社庁連合会諸会議
- 9、国旗掲揚運動推進
- 10、不活動神社対策事業
- 11、過疎化地域神社対策事業
- 12、金品寄付者顕彰
- 13、神政連活動に協力
- 14、神社奉護運動推進
- 15、日本会議活動に協力
- 16、美しい日本の憲法をつくる山梨県民の会活動に協力

17、天皇陛下御即位奉祝事業

18、郷土暦編纂配布

19、庁報「かひがね」年四回発行

神社本庁統理の承認を申請した神社

申請件数

十二件

承認件数

十四件

内訳

財産処分

七件

建物新改築等

五件

境内地模様替

二件

神社本庁規程表彰

武田神社権欄宜

関 宣隆

八幡神社宮司

山本 純司

八幡神社責任役員

熊王 育雄

神社庁規程表彰

富士御室浅間神社欄宜

濱 陽一

八幡神社欄宜

藤本 文彦

八幡神社総代会長

小野 俊之

穴切大神社総代会長

古屋 進

石和八幡宮総代会長

高野 博夫

神宮大麻奉斎五十周年記念表彰
優秀支部

全国神社総代会規程表彰

田原神社責任役員 藤江 稿吉
田原神社責任役員 安富 清
田原神社責任役員 矢崎 暉文東八代支部
峡北支部
南都留支部

頒布優良奉仕者

山梨県神社総代会規程表彰

【新任神職】

住吉神社欄宜

藤巻 普紀

武田神社責任役員

進藤 中

逸見神社欄宜

森越 靖幸

天津神社総代会長

中沢 龍雄

武田神社総代

小澤 一男

【昇任神職】

菅田天神社宮司

今澤 俊次

武田神社敬婦人会長

乙黒 夏恵

武田神社欄宜

乙黒 洋

松尾神社総代長

横山 治之

住吉神社崇敬者

宮川 徳子

住吉神社欄宜

藤巻 普紀

若宮神社宮司

志村 重治

住吉神社崇敬者

佐野 春子

武田八幡宮宮司

内藤 希

美和神社宮司

桃井 一祝

稲積神社崇敬青年会

大藏 幸仁

中尾神社宮司

田村かおる

浅間神社欄宜

植松 真芳

稲積神社崇敬青年会

窪田 篤美

【本務替神職】

石和八幡宮総代会長

高野 博夫

稲積神社稲積睦会

横森 哲

【本務替神職】

浅間神社宮司

内藤 寛

稲積神社稲積睦会

梅澤 雅巳

七日子神社宮司

窪坂 文恒

八幡神社責任役員

木内 正文

稲積神社稲積睦会

大柴 拓也

【帰幽神職】

桃園神社宮司

村松 常男

穴切大神社穴切睦間

饗場 紀典

八王子神社宮司

小林 一夫

諏訪神社総代

久保田松幸

穴切大神社員会会長

中田 勝巳

中尾神社宮司

田村 弘正

駒ヶ嶽神社宮司

今橋 武

元宮住吉神社名誉総代

松山 勝利

【退職神職】

建部神社宮司

石原 貞夫

三社諏訪神社総代

磯部 昇

小佐野文男

武田八幡宮総代

江上 年秋

三社諏訪神社責任役員

長谷川良明

【退職神職】

筒口神社権欄宜

福住 和夫

三社諏訪神社責任役員

村松 裕美

富士浅間神社宮司

羽田 昭之

小室浅間神社宮司

宮下 重範

鈴宮諏訪神社責任役員

長山 勝典

市杵島神社宮司

加越紀念男

牛倉神社宮司

中村 宗彦

菅原天神社責任役員

齊藤 忠男

三之蔵神社宮司

小泉 寛子

牛倉神社責任役員

石原 英司

菅原天神社責任役員

花輪 正彦

菅原天神社責任役員

前原 政

特別な協力団体

玉諸神社総代会長

中込 豊秋

八幡神社責任役員

山本 哲生

稲積神社権欄宜

名取 増昭

桃園神社総代会長

小林 豊

義清神社総代

河西 秀吏

笠屋神社相談役

水上 忠雄

桃園神社総代会長

中込 豊秋

八幡神社責任役員

山本 哲生

稲積神社権欄宜

名取 増昭

石和八幡宮総代会長

高野 博夫

義清神社総代

河西 秀吏

笠屋神社相談役

水上 忠雄

桃園神社総代会長

小林 豊

義清神社総代

河西 秀吏

笠屋神社相談役

水上 忠雄

四・六	神政連全国選挙対策委員会(神社本庁)	五・一八	神社庁役員会(山梨県神社庁)、表彰員会(山梨県神社庁)、表彰員会(山梨県神社庁)、北方領土返還要求運動、山梨県民会議総会(ヘルクラシック甲府)	六・八	神社庁役員会(山梨県神社庁)、身分選考委員会(山梨県神社庁)、不活動神社対策委員会(山梨県神社庁)、神宮大摩都市頒布向上委員会(山梨県神社庁)、過疎地域神社活性化推進委員会(山梨県神社庁)	八・一〇	山梨県地方議員懇談会(県議会云議室)監査(県議会云議室)	山梨県戦没者追悼式参列(山梨縣護國神社)	府紀の里拔穂参列(甲府市上石田)	八・二二	全国選挙対策委員会(参議院議員会館、庁報委員会)(山梨県神社庁)	神政連山梨県本部定例代議員会(山梨県神社庁)、山梨県地方議員懇談会総会(山梨県神社庁)	八・二五	北口本宮富士浅間神社鎮火祭参列(北口本宮富士浅間神社)	自民党山梨県連打合せ(自民党山梨県連)	牛倉神社献幣使(牛倉神社)	本庁役員会(神社本庁)	不活動神社対策委員会(山梨県神社庁)	神宮大摩都市頒布向上計画委員会(山梨県神社庁)	庁報委員会(山梨県神社庁)	九・一二	教化委員会(山梨県神社庁)	山梨県神社庁監査(山梨県神社庁)	山梨県神社庁
四・八	参議院選挙対策会議(山梨県神社庁)	五・一九	参議院選挙対策会議(山梨県神社庁)	六・一一	長崎知事県政報告会(アビオ甲府)	八・一五	山梨県戦没者追悼式参列(山梨縣護國神社)	府紀の里拔穂参列(甲府市上石田)	八・二三	全国選挙対策委員会(参議院議員会館、庁報委員会)(山梨県神社庁)	神政連山梨県本部定例代議員会(山梨県神社庁)、山梨県地方議員懇談会総会(山梨県神社庁)	八・二五	北口本宮富士浅間神社鎮火祭参列(北口本宮富士浅間神社)	自民党山梨県連打合せ(自民党山梨県連)	牛倉神社献幣使(牛倉神社)	本庁役員会(神社本庁)	不活動神社対策委員会(山梨県神社庁)	神宮大摩都市頒布向上計画委員会(山梨県神社庁)	庁報委員会(山梨県神社庁)	九・一二	教化委員会(山梨県神社庁)	山梨県神社庁監査(山梨県神社庁)	山梨県神社庁	
四・一〇	中谷真一を囲む会(アビオ甲府)	五・一九	参議院選挙対策会議(山梨県神社庁)	六・一一	長崎知事県政報告会(アビオ甲府)	八・一五	山梨県戦没者追悼式参列(山梨縣護國神社)	府紀の里拔穂参列(甲府市上石田)	八・二三	全国選挙対策委員会(参議院議員会館、庁報委員会)(山梨県神社庁)	神政連山梨県本部定例代議員会(山梨県神社庁)、山梨県地方議員懇談会総会(山梨県神社庁)	八・二五	北口本宮富士浅間神社鎮火祭参列(北口本宮富士浅間神社)	自民党山梨県連打合せ(自民党山梨県連)	牛倉神社献幣使(牛倉神社)	本庁役員会(神社本庁)	不活動神社対策委員会(山梨県神社庁)	神宮大摩都市頒布向上計画委員会(山梨県神社庁)	庁報委員会(山梨県神社庁)	九・一二	教化委員会(山梨県神社庁)	山梨県神社庁監査(山梨県神社庁)	山梨県神社庁	
四・一二	武田神社例大祭参列(武田神社)	五・一九	参議院選挙対策会議(山梨県神社庁)	六・一一	長崎知事県政報告会(アビオ甲府)	八・一五	山梨県戦没者追悼式参列(山梨縣護國神社)	府紀の里拔穂参列(甲府市上石田)	八・二三	全国選挙対策委員会(参議院議員会館、庁報委員会)(山梨県神社庁)	神政連山梨県本部定例代議員会(山梨県神社庁)、山梨県地方議員懇談会総会(山梨県神社庁)	八・二五	北口本宮富士浅間神社鎮火祭参列(北口本宮富士浅間神社)	自民党山梨県連打合せ(自民党山梨県連)	牛倉神社献幣使(牛倉神社)	本庁役員会(神社本庁)	不活動神社対策委員会(山梨県神社庁)	神宮大摩都市頒布向上計画委員会(山梨県神社庁)	庁報委員会(山梨県神社庁)	九・一二	教化委員会(山梨県神社庁)	山梨県神社庁監査(山梨県神社庁)	山梨県神社庁	
四・一四	志公会と語る夕べ(ホテルニューオータニ)	五・二三	自由民主党山梨県連青年局会議(ヘルクラシック甲府)	六・一一	長崎知事県政報告会(アビオ甲府)	八・一五	山梨県戦没者追悼式参列(山梨縣護國神社)	府紀の里拔穂参列(甲府市上石田)	八・二三	全国選挙対策委員会(参議院議員会館、庁報委員会)(山梨県神社庁)	神政連山梨県本部定例代議員会(山梨県神社庁)、山梨県地方議員懇談会総会(山梨県神社庁)	八・二五	北口本宮富士浅間神社鎮火祭参列(北口本宮富士浅間神社)	自民党山梨県連打合せ(自民党山梨県連)	牛倉神社献幣使(牛倉神社)	本庁役員会(神社本庁)	不活動神社対策委員会(山梨県神社庁)	神宮大摩都市頒布向上計画委員会(山梨県神社庁)	庁報委員会(山梨県神社庁)	九・一二	教化委員会(山梨県神社庁)	山梨県神社庁監査(山梨県神社庁)	山梨県神社庁	
四・一五	教化委員会特別部会(山梨県神社庁)	五・二三	自由民主党山梨県連青年局会議(ヘルクラシック甲府)	六・一一	長崎知事県政報告会(アビオ甲府)	八・一五	山梨県戦没者追悼式参列(山梨縣護國神社)	府紀の里拔穂参列(甲府市上石田)	八・二三	全国選挙対策委員会(参議院議員会館、庁報委員会)(山梨県神社庁)	神政連山梨県本部定例代議員会(山梨県神社庁)、山梨県地方議員懇談会総会(山梨県神社庁)	八・二五	北口本宮富士浅間神社鎮火祭参列(北口本宮富士浅間神社)	自民党山梨県連打合せ(自民党山梨県連)	牛倉神社献幣使(牛倉神社)	本庁役員会(神社本庁)	不活動神社対策委員会(山梨県神社庁)	神宮大摩都市頒布向上計画委員会(山梨県神社庁)	庁報委員会(山梨県神社庁)	九・一二	教化委員会(山梨県神社庁)	山梨県神社庁監査(山梨県神社庁)	山梨県神社庁	
四・一九	正副庁長会(山梨県神社庁)、神社庁役員会(山梨県神社庁)	五・二三	自由民主党山梨県連青年局会議(ヘルクラシック甲府)	六・一一	長崎知事県政報告会(アビオ甲府)	八・一五	山梨県戦没者追悼式参列(山梨縣護國神社)	府紀の里拔穂参列(甲府市上石田)	八・二三	全国選挙対策委員会(参議院議員会館、庁報委員会)(山梨県神社庁)	神政連山梨県本部定例代議員会(山梨県神社庁)、山梨県地方議員懇談会総会(山梨県神社庁)	八・二五	北口本宮富士浅間神社鎮火祭参列(北口本宮富士浅間神社)	自民党山梨県連打合せ(自民党山梨県連)	牛倉神社献幣使(牛倉神社)	本庁役員会(神社本庁)	不活動神社対策委員会(山梨県神社庁)	神宮大摩都市頒布向上計画委員会(山梨県神社庁)	庁報委員会(山梨県神社庁)	九・一二	教化委員会(山梨県神社庁)	山梨県神社庁監査(山梨県神社庁)	山梨県神社庁	
四・二五	自由民主党山梨県連実務者会議(アビオ甲府)	五・二四	全国神社総代会代議員会(神社本庁)、国學院大學協議員会(明治記念館)	六・一五	教化委員会(山梨県神社庁)、神社庁事務担当	八・二五	山梨県地方議員懇談会総会(山梨県神社庁)	府紀の里拔穂参列(甲府市上石田)	八・二三	全国選挙対策委員会(参議院議員会館、庁報委員会)(山梨県神社庁)	神政連山梨県本部定例代議員会(山梨県神社庁)、山梨県地方議員懇談会総会(山梨県神社庁)	八・二五	北口本宮富士浅間神社鎮火祭参列(北口本宮富士浅間神社)	自民党山梨県連打合せ(自民党山梨県連)	牛倉神社献幣使(牛倉神社)	本庁役員会(神社本庁)	不活動神社対策委員会(山梨県神社庁)	神宮大摩都市頒布向上計画委員会(山梨県神社庁)	庁報委員会(山梨県神社庁)	九・一二	教化委員会(山梨県神社庁)	山梨県神社庁監査(山梨県神社庁)	山梨県神社庁	
四・二六	自由民主党山梨県連実務者会議(アビオ甲府)	五・二四	全国神社総代会代議員会(神社本庁)、国學院大學協議員会(明治記念館)	六・一五	教化委員会(山梨県神社庁)、神社庁事務担当	八・二五	山梨県地方議員懇談会総会(山梨県神社庁)	府紀の里拔穂参列(甲府市上石田)	八・二三	全国選挙対策委員会(参議院議員会館、庁報委員会)(山梨県神社庁)	神政連山梨県本部定例代議員会(山梨県神社庁)、山梨県地方議員懇談会総会(山梨県神社庁)	八・二五	北口本宮富士浅間神社鎮火祭参列(北口本宮富士浅間神社)	自民党山梨県連打合せ(自民党山梨県連)	牛倉神社献幣使(牛倉神社)	本庁役員会(神社本庁)	不活動神社対策委員会(山梨県神社庁)	神宮大摩都市頒布向上計画委員会(山梨県神社庁)	庁報委員会(山梨県神社庁)	九・一二	教化委員会(山梨県神社庁)	山梨県神社庁監査(山梨県神社庁)	山梨県神社庁	
四・二九	自由民主党山梨県連講演会(アビオ甲府)	五・二六	神社本庁評議員会(神社本庁)	六・二七	予算委員会(山梨県神社庁)、庁報委員会(山梨県神社庁)	九・三	自民党山梨県連打合せ(自民党山梨県連)	牛倉神社献幣使(牛倉神社)	本庁役員会(神社本庁)	不活動神社対策委員会(山梨県神社庁)	神宮大摩都市頒布向上計画委員会(山梨県神社庁)	庁報委員会(山梨県神社庁)	九・一二	教化委員会(山梨県神社庁)	山梨県神社庁監査(山梨県神社庁)	山梨県神社庁								
四・三〇	皇學館大學創立一四〇周年・再興六十周年記念行事出席(皇學館大學)	五・二八	神社本庁評議員会(神社本庁)、神社庁長会(神社本庁)、班斂式(神社本庁)	七・五	庁報委員会(山梨県神社庁)	九・七																		
五・三	稲積神社例大祭参列(稲積神社)	五・三〇	北口本宮富士浅間神社例大祭参列(北口本宮富士浅間神社)	六・一	永井学選挙事務所訪問(永井学選挙事務所)	七・一九	本庁役員会(神社本庁)	神政連県本部役員会(山梨県神社庁)	山梨県神社庁監査(山梨県神社庁)	山梨県神社庁	九・二五	教化委員会(山梨県神社庁)	山梨県神社庁											
五・五	永井学選挙事務所訪問(永井学選挙事務所)	六・一	山梨県神社庁	七・一九	本庁役員会(神社本庁)	九・二五	教化委員会(山梨県神社庁)	山梨県神社庁																
五・八	永井学選挙事務所訪問(永井学選挙事務所)	六・一	山梨県神社庁	七・一九	本庁役員会(神社本庁)	九・二五	教化委員会(山梨県神社庁)	山梨県神社庁																
五・一二	教化委員会(山梨県神社庁)	六・二	山梨県神社庁	七・一九	本庁役員会(神社本庁)	九・二五	教化委員会(山梨県神社庁)	山梨県神社庁																
五・一三	神宮大摩都市頒布向上委員会打ち合わせ(山梨県神社庁)	六・四	山梨県神社庁	七・二七	山梨県神社庁	九・二二	山梨県神社庁																	
五・一四	悠紀の里御田植祭参列(甲府市上石田)	六・五	山梨県神社庁	七・二九	山梨県神社庁	九・二六	山梨県神社庁																	
五・一七	清和政策研究会との懇親の集い(東京プリンスホテル)	六・七	山梨県神社庁	八・九	山梨県神社庁	九・二六	山梨県神社庁																	

山梨県神社庁経常費歳入歳出決算				自	令和3年7月1日	至	令和4年6月30日
山梨県神社庁経常費歳入歳出予算				自	令和4年7月1日	至	令和5年6月30日
歳入の部							
款項	科目	令和3年度決算額	令和4年度予算額				
神社本庁幣帛料 負担金 本庁協賛金 神社負担金 神職負担金 特別神社寄贈金 神宮奉賛活動推進費 本庁75周年負担金 交付金 神宮神徳宣揚費 神社本庁交付金 財産収入 神殿奉納金 財産利子 預金利子 諸収入 郷土暦頒布費 手数料並授与料 雑収 特別納付金 当初運営金 繰越金 歳入合計		376,200	370,000	通信運搬費	619,592	800,000	
		22,570,100	22,611,100	賄費	25,754	50,000	
		580,000	580,000	旅費	451,480	2,000,000	
		11,326,100	11,326,100	交際費	433,177	1,100,000	
		8,439,000	8,375,000	慶弔費	92,800	250,000	
		1,825,000	1,930,000	雑費	37,245	100,000	
		400,000	400,000	車両維持管理費	566,695	1,200,000	
		0		事業費	6,791,732	9,355,000	
		55,983,660	55,400,000	教化関係費	268,889	400,000	
		55,100,000	54,600,000	教化委員会費	2,196,464	2,500,000	
		883,660	800,000	地方研修所費	163,419	700,000	
		437	12,000	講習会助成費	46,720	50,000	
		0	10,000	庁報発行費	1,061,500	1,200,000	
		264	1,000	郷土暦調整費	994,582	1,100,000	
		173	1,000	神宮奉賛活動推進費	161,180	400,000	
		4,450,347	3,808,204	指定団体補助金	1,220,000	1,220,000	
		1,921,500	1,900,000	神社本庁協賛金	435,000	465,000	
		879,600	600,000	表彰費	143,978	100,000	
		849,247	308,204	神社調査費	0	100,000	
		800,000	1,000,000	諸祭寄贈金	100,000	120,000	
	6,000,000	6,000,000	一都七県当番準備金		1,000,000		
	5,726,942	5,798,696	神社本庁負担金	3,164,175	3,200,000		
	95,107,686	94,000,000	大麻暦頒布費	964,518	1,003,000		
歳出の部							
款項	科目	令和3年度決算額	令和4年度予算額				
幣帛料 神宮神徳宣揚費 本庁特別納付金 支部交付金 会議費 役員会費 委員会費 関係者大会費 参与会費 給料及諸給与 給料 諸給与 賞与 備人料 社会保険・厚生年金 福利厚生費 庁費 備品費 文房具費 図書印刷費 消耗品費 光熱水費		371,000	450,000	頒布始祭費	80,000	80,000	
		35,171,644	34,840,000	郷土暦頒布交付金	576,450	600,000	
		11,081,644	10,980,000	荷造発送費	35,068	50,000	
		24,090,000	23,860,000	雑費	273,000	273,000	
		3,518,552	4,300,000	派遣費	405,320	1,460,000	
		1,701,571	1,900,000	評議員派遣費	244,160	350,000	
		102,957	200,000	一都七県連合会派遣費	51,380	900,000	
		1,640,845	1,500,000	神宮奉仕員派遣費	0	10,000	
		73,179	700,000	事務担当者派遣費	109,780	200,000	
		17,469,238	18,060,740	会館運営費	1,696,399	1,820,000	
		9,272,400	9,367,200	神殿費	183,599	200,000	
		2,346,840	2,430,840	借地費	200,000	400,000	
		3,415,810	3,512,700	営繕費	875,400	700,000	
		0	50,000	管理費	323,400	400,000	
		2,382,118	2,600,000	諸費	114,000	120,000	
		52,070	100,000	資金財産造成費	8,020,000	3,020,000	
		4,436,412	8,550,000	基本財産造成費	10,000	10,000	
		850,020	800,000	予備資金積立金	10,000	10,000	
		18,559	50,000	職員退職金積立金	500,000	500,000	
		40,800	500,000	会館維持資金積立金	500,000	500,000	
	290,862	500,000	神宮式年遷宮積立金	1,000,000	1,000,000		
	1,009,428	1,200,000	災害対策基金積立金	6,000,000	1,000,000		
			分担金	500,000	500,000		
			運営資金積立金	800,000	800,000		
			次年度当初運営金	6,000,000	6,000,000		
			予備費	0	641,260		
			歳出合計	89,308,990	94,000,000		

山梨県神社庁総代会経常費歳入歳出決算 山梨県神社庁総代会経常費歳入歳出予算				自 自	令和3年7月1日 令和4年7月1日	至 至	令和4年6月30日 令和5年6月30日
歳入の部				消耗品費		6,056	10,000
款項	科目	令和3年度決算額	令和4年度予算額	旅費		20,000	1,100,000
諸収入		3,032,942	2,993,141	手当		120,000	120,000
負担金		1,551,000	1,551,000	慶弔費		0	80,000
協賛金		1,436,000	1,436,000	役員会費		10,607	100,000
寄付金		0	5,000	雑費		14,240	150,000
雑収入		45,942	1,141	全国神社総代会代議員派遣費		72,780	200,000
前年度繰越金		4,096,220	3,906,859	負担金		120,500	120,500
歳入合計		7,129,162	6,900,000	事業費		2,448,956	4,300,000
歳出の部				神社振興対策費		0	1,100,000
款項	科目	令和3年度決算額	令和4年度予算額	講演会費		0	100,000
諸支出		252,847	1,820,000	功績者表彰費		143,978	100,000
備品費		0	10,000	研修費		175,000	900,000
文房具費		1,316	10,000	全国総代会積立金		500,000	500,000
図書印刷費		2,200	10,000	総会費		1,629,978	1,600,000
通信運搬費		5,648	30,000	予備資金積立金		400,000	400,000
				予備費		0	259,500
				歳出合計		3,222,303	6,900,000

神政連山梨県本部歳入歳出決算 自令和3年7月1日至令和4年6月30日 神政連山梨県本部歳入歳出予算 自令和4年7月1日至令和5年6月30日				歳出の部			
款項	科目	令和3年度決算額	令和4年度予算額	款項	科目	令和3年度決算額	令和4年度予算額
会費		1,862,000	1,850,000	経常費		248,899	250,000
特別協賛金		364,000	369,000	人件費		150,000	150,000
法人寄付		1,086,826	1,860,000	備品消耗費		20,000	20,000
個人寄付		0	3,500,000	事務所費		78,899	80,000
雑収入		8	2,950	政治活動費		3,743,965	7,630,000
一都七県繰入金			400,111	組織活動費		1,350,242	2,100,000
当初運営資金繰入金		0	200,050	調査研究費		14,000	200,000
前年度繰越金		797,919	117,889	寄付金交付		1,964,800	1,980,000
歳入合計		4,110,753	8,300,000	修繕費		276,923	1,050,000
				一都七県会議費		0	2,200,000
				その他の経費		138,000	100,000
				運営基金積立金		0	50,000
				一都七県積立金		0	0
				運営資金積立金		0	50,000
				当初運営資金繰出金		0	200,050
				予備費		0	169,950
				歳出合計		3,992,864	8,300,000

金品寄付者に対して感謝状贈呈

神社庁長

◆甲府支部

稲積神社 川口智久、橘田正

志、渡辺歯科医院 渡邊富裕

弥助鮎水澤利彦

◆東山型支部

若松神社 天野広明

◆峡中支部

諏訪神社 金丸基彦、手塚勝

◆南都留支部

富士御室浅間神社 三浦紀内

北口本宮富士浅間神社 株式

会社桜照明 代表取締役 紺野

勝義

浅間神社 梶原久義、梶原鉄

筋工業株式会社

天神社 土谷志保子、小林英

昭

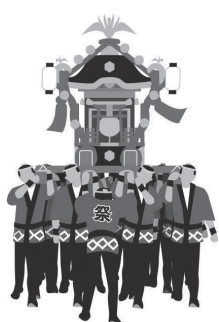
神社本庁統理

◆甲府支部

稲積神社 小尾武、齋藤茂

塩島好博、内田清、井上重良、

新藤淳、丹澤正臣



絵本 日本の神話

大国主の物語（第五話）



お子さん、お孫さんと、
神話の世界をお楽しみ下さい。

「一般財団法人 日本文化興隆財団」提供
問い合わせ 東京都渋谷区千駄ヶ谷四―五―十
電話 〇三―五七七五―一四四五

一冊 二〇〇円



やっぱり 虫たちはにげていきました。

「よかった、スセリヒメのおかげで
今夜もぐっすりねむれるよ。」

グー グー グー ……」

スサノオは ふしぎに思いました。

「へびの部屋でも、ハチとムカデの部屋でも
あいつは 平気なのか。」

よし、もうひとつ 試練を与えてやろう。」

スサノオは オオクニヌシを 野原につれていき、
ピューツと 矢をはなしました。

「おい、オオクニヌシ、
矢を さがしてくるのだ。」





「はい、おまかせください。」

オオクニヌシがさがしていると、
パチパチと 草^{くさ}がもえる音^{おと}が してきました。
なんと、スサノオが 野原^{のほら}に火^ひをつけたのです。

火^ひは どんどんひろがって
オオクニヌシのまわりを とりかこみました。

ボー ボー ボー

「たいへんだ、まるやきに なっちゃう！」



そのとき、「びきのねずみが ちかづいてきて
なにか言いました。」

「うちは ホラホラ、
そとは スブスブ……。」

「えっ、どついう意味？」

すると突然、オオクニヌシの 足もとに
ぽっかり穴があき、その中におっこちたのです。

「あいたたた。」

ああ、ここにいれば 安全だ。」

ねずみが言ったのは、

内側はほら穴で 外側はスブスブ

火が くすぶっているということなのでした。



令和四年度 神宮参与、同評議員会・ 伊勢神宮崇敬会代議員会

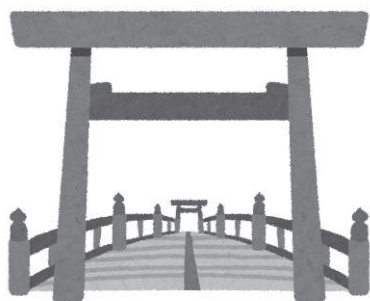
本庁評議員理事 上 文 司 厚

過日九月二十九日に令和四年度神宮参与、同評議員会・伊勢神宮崇敬会代議員会が神宮会館に於いて三年ぶりに開催された。山梨県からは参与である小佐野庁長以下十四人の評議員が参加した。一行は前日の二十八日に立、豊受大神宮、皇大神宮を夫々御垣内参拝した。通常は恒例で開かれる懇親会は中止となった。

開催日当日は午前十一時に開会。会場は大講堂とラウンジの二か所に分散した。国歌斉唱、神宮大宮司挨拶、伊勢神宮崇敬会会長挨拶等の儀礼の後、議事に進んだ。その中で、令和三年六月から四年九月迄の神宮主要事項、崇敬者総代並び職員の異動、神宮大麻及び暦頒布数、神宮各博物館の事業内容、両宮の参拝者数等の報告がなされた。続き崇敬会の事業報告があり閉会した。

神宮もコロナ禍の影響が少なからず、参拝者数は令和三年の前年比内宮は約百万人、外宮は約七十万人の減となったが、現在増加しつつあるとの報告もあった。神宮の賑わいは全国の神社の活況に波及するので、このまま上向くことを切に祈念する。

二十九日夕刻一行の各々は無事帰宅した。



第二十六回一都七県神職野球大会

神道青年会 副会長 濱 武 尊

去る令和四年九月二十一日、埼玉県の太宮けんぼグラウンドにて神青協一都七県協議会の神職野球大会が行われました。昨今の疫病事情や台風の影響もあり近年は開催することが叶わず、平成三十年以来実に四年ぶりの開催となりました。

本年も直前まで台風の影響が懸念されておりましたが、当日の朝は少し肌寒いくらいであり、日が昇るにつれ気温も上がり、油断すれば日焼けをするような絶好の野球日和となりました。今年は会場の都合上前回より会場使用時間が短く、集合時間が早まり、一試合の時間も短縮せざるを得ないなど、会議の時点では日程面で不安を感じるところもございましたが、いざ始めてみれば全く気にならず、今回の野球大会に苦心していただきました埼玉県神道青年会の皆様には感謝を申し上げる次第です。

扱、今大会では三試合行われた訳ですが、山梨県の成績は次の通りです。
一試合目 対戦相手：群馬県。

投手の球が速すぎて相手にならず。途中変わるも巻き返せず敗退。

二試合目 対戦相手：栃木県。当方投手の肩が限界を迎える。先輩に助けていただき試合にはなるも敗退。

三試合目 対戦相手茨城県。四球なし等の特別ルール。実に良い試合を繰り広げるが、惜しくも敗退。

楽しい一日ではございましたが、優勝までの道は険しく感じる試合結果でありました。最後になりましたが、今大会にお力添えいただきました先輩諸兄にこの場を借りて心より御礼申し上げ、第二十六回一都七県神職野球大会の報告とします。



山梨県神社庁協議員会報告

議長 桃 井 一 祝

神社庁定例協議員会が八月九日に神社庁二階会議室において午後一時から開催された。

修祓、神殿拝礼、国歌斉唱、敬神生活の綱領唱和、黙祷の後小佐野正史庁長より、令和四年度庁務概要がありました。

引き続き、協議員三十三名のうち二十五名が出席し定足数にたり協議員会が成立した。

まず第一号議案「令和三年度神社庁業務概要報告の件」第二号議案「令和三年度歳入歳出決算報告の件」第三号議案「神社庁資金現金現在高報告の件」第四号議案「監査報告」が一括上程された。事務局より、令和三年度はコロナ禍の為、各種会議が中止になったり、またカーリース乗換えも次年度になる等各項目の決算額が減額になった事が説明された後、篠原監事より監査報告がされた。特段の質疑・討論なく、採決した結果会員異議なく承認された。

次いで第五号議案「令和四年度歳入歳出予算(案)の件」が上程された。事務局より、会館運営費・措置費が二十万円から四十万円になった理由、又今年度は会館一階のLED化工事等がある旨の説明がされた。特段の質疑の応答・討論なく、採決した結果会員異議なく承認された。

次いで第六号議案「その他」を上程したが、特段何もなく協議員会は閉会された。

山梨神社庁規則 抜粋
第十九条

協議員会は、協議員定数の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。

(2)協議員の議事は、出席議員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。但し、この規則の変更については定数の三分の二以上の賛成を必要とする。

山梨県神社総代会評議員会報告

副会長 坂 本 宗 正

令和四年度山梨県神社総代会評議員会が八月九日に、依然と終息の先が見えないコロナ禍の中、山梨県神社庁二階にて開催された。同会儀礼にて、会長小尾様体調を考慮されて欠席にて皆様によりしくお伝えとの事、私より一言の挨拶の場を頂きました。

議事議題にて令和三年度事業報告、令和三年度歳入歳出決算報告の件、神社総代会資金現金現在高報告の件につき監事小野俊之氏より監査報告があり可決成立された。次に令和四年度事業について「皇室敬慕の念を喚起し、尊厳護持のための啓発活動に努める」「神宮大麻奉斎運動と参宮推進活動に努める」「神社の奉護と祭祀の厳修に努める」「神道の精神に基づき、次代を担う青少年の健全育成に努める」「国旗国歌及び祝日の意義啓発活動に努める」「不活動神社対策事業施策の協力を努める」「第五十七回全国神社総代会大会への参加(十月六日開催

地北海道札幌市)」「その他の継続事業」の歳入歳出予算について審議され原案通り可決成立された。今年度は任期満了に伴う役員改選年であり評議員会にて副会長三名理事役員が就任された。

小佐野庁長挨拶において、特に神宮大麻頒布推進運動の件につき又不活動神社対策事業について、又今年度第五十七回全国神社総代会大会が北海道札幌市パークホテルにて開催予定につき山梨県としての参加計画についての話がなされました。又、令和四年度事業方針としまして以前より小尾会長が神宮大麻頒布推進運動に積極的に取り組み、若い世代にも幅広く増体を図っていききたいと力強く信念をもち、取り組んでおられ、私としまして今年度副会長に就いたばかりの身、会長始め役員の皆様にご指導をいただき、一体でも多く神宮大麻増体なる様に取り組み努めていきたいと思っております。

神政連山梨県本部代議員会報告

本部長 渡 邊 平 一 郎

令和四年八月二十五日に、山梨県神社庁に於いて神政連山梨県本部代議員会が開催された。これに先だち、例年通り山梨県護国神社に正式参拝した。

午後一時三十分より十九名の代議員出席のもと代議員会が開催されたが冒頭、永井学参議院議員が来庁され、参議院選挙での神政連の応援により、七月に当選できたことの御礼と、これからの国政への取り組みと意気込みを述べられた。この後、通常の開会儀礼を行い、先の参議院選挙中に奈良県に於いて暗殺された安倍晋三元首相に黙祷した。本部長、神社庁長の挨拶があり議事に入った。事業報告で昨年は新型コロナウイルスの影響を受けて代議員会は書面表決となり、参加すべき会議や事業がほとんど中止や縮小となったこと、その中で本年三月二日の臨時代議員会に於いて現執行部が誕生したこと、六月一日参議院に向けてコロナ禍でも山谷えり子、永井学両候補を招いて両

候補を励ます、山梨県民大会を開催したこと、又電話作戦などで選挙を応援したこと、又その結果両候補が当選したことの報告があり、令和三年度歳入歳出決算報告、監査報告があり承認された。続いて令和四年度事業案が提案された。本年度は山梨県が当番県であり、二月中旬から三月初旬に一都七県の本部長、幹事長、事務局長会議を開催し詳細な日程は執行部一任を受けた。又来年の統一地方選に於いて先ず知事選では、現長崎幸太郎知事を推薦すること、県議会議員選挙では現職を推薦することなど



を決定、三月に靖國神社参拝研修を決めて令和四年度の歳入歳出予算が決定されて閉会した。

神政連山梨県本部地方議員懇談会報告

副本部長 渡 邊 學

去る八月二十五日午後三時より神道政治連盟山梨県地方議員懇談会総会が山梨県神社庁に於いて、開催された。本年も新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に神社庁で総会のみが開催された。神宮遥拝、声を出さない国歌斉唱、神政連宣言綱領唱和の後に開会、会長挨拶代読桜本県議会議長、次に来賓挨拶渡邊平一郎本部長、小佐野正史庁長、守屋宏参議院議員、堀内詔子衆議院議員と七月の参議院議員選挙で当選された永井学氏、美しい日本の憲法をつくる山梨県民の会長臼井成夫氏の挨拶、永井学氏は選挙当選のお礼の言葉を合わせて挨拶された。来賓紹介は中谷真一衆議院議員代理秘書渡邊氏が紹介された。祝電披露は赤池誠章参議院議員、中谷真一衆議院議員、向山憲稔県議会議員の電文が披露されて議事に入った。

浅川力三議長により議事進行され、令和三年度活動報告が白壁賢一幹事長より報告された。

次に令和三年度決算報告が事務局より報告、監査報告が早川浩監事よりされた。その後令和四年度活動方針、事業計画案が白壁賢一幹事長より予算案を事務局より提案され採択された。その他の議案として毎年東京で開催されている国会議員懇談会に山梨県地方議員懇談会からも参加していただきたい、と渡邊本部長より依頼の言葉があり閉会した。

七月の参議院議員選挙で山梨選挙区は永井学氏を比例代表では山谷えり子氏を推薦して国会に送る事が出来た。来年一月には山梨県知事選挙が予定されるが神政連代議員会において、山梨県知事には現職の長崎幸太郎氏を推薦する事で了承された。又統一地方選では神政連山梨県地方議員懇談会会員を推薦して選挙に協力、応援する事が確認されている。

神政連山梨に皆様のご協力を宜しくお願い致します。

敬神婦人連合会全国大会

事務局 金子雄紀

山梨県敬神婦人連合会では、去る九月二十七日、東京都で開催された第七十二回全国敬神婦人大会に、県下各単位会のご協力により十三名にて参加致しました。本大会は昨年、一昨年と新型コロナウイルス感染症により開催が出来ず、全国の会員が一堂に会する三年ぶりの大会となりました。

大会は明治神宮会館で行われ、式典に先立ち清興では江戸消防記念会・第九区による「木遣り」が披露されました。その後の式典では、鷹司会長の式辞、来賓祝辞と続き、議事では、令和三年度の会務報告・決算報告、令和四年度事業計画案・予算案、役員改選が上程され、全会一致で承認されました。林家たい平師匠による記念講演では、師匠の半生を振り返りつつ、信念や指針をまぐらとして古典落語「初天神」を披露され、会場の笑いを誘っていました。

大会に合わせて、神田神社を正式参拝致しました。最新の技

術や文化を導入されている一方、清水宮司様を始め職員の方々の手厚いおもてなしに一同大変感激致しました。

安倍晋三元総理大臣の国葬と同日であり、都内が厳戒態勢の中ではありましたが、無事に行程を終え久々の交流に感慨にふけりつつ帰路に就きました。来年の全国敬神婦人大会は天孫降臨の地「宮崎県」での開催となります。多くの皆様にご参加くださいますようお願い申し上げます。今大会の報告と致します。



第十四回雅楽研修会に参加して

北口本宮富士浅間神社

権瀬宜丹沢稜

九月三日より九月四日の二日間、山梨県神社庁研修所主催、山梨県神道雅楽会主管による第十四回雅楽研修会が山梨県神社庁にて開催された。講師として竜笛・上明彦先生、箏・池邊五郎先生、鳳笙・池邊光彦先生の三名の先生方にお越しいただき、ご指導を仰いだ。受講生には山梨県神道雅楽会の会員をはじめ、穴切雅楽会の会員や神職、神職ではない方々も多く参加しており、各々が自身の技量を磨くために熱心に研修に励んでいた。

初日は九時三十分より神殿前にて開講式が行われ、その後は各管に分かれて稽古が行われた。私は竜笛の稽古に参加させて頂き、普段の奉仕で奏していない曲、奏したことのない初めての曲をご指導いただいた。二日目の最後には合奏が行われることとなっており、今回の課題曲は太食調の合歓塩・抜頭が選ばれた。課題曲を練習しつつ、他の

曲も指導していただいた。

二日目は九時より各管に分かれての稽古が行われた。課題曲二曲の確認を行い、確認の後には一日目とは違う曲の指導をいただいた。十四時から合奏が神殿前にて行われた。受講生一人一人が二日間の稽古の成果を発揮し、楽しみながら合奏することができたのではないかと思います。合奏の後には神殿前にて閉講式が行われ、三名の先生より本研修の講評を頂き閉会となった。本研修に参加させて頂き、まだまだ学ぶことが多くあることを改めて認識する良い機会となった。自身の技術の低さ、稽古の大切さを痛感し、技術の向上を目標とし、日々の稽古に励みたいと思う。



祭典を斎行して

山梨県護国神社

欄 宜 羽中田 康 司

みたま祭は、東京九段の靖国神社をはじめ全国の護国神社で行われている祭典である。各都道府県により祭典の時期に違いは有るが、山梨県では、お盆に合わせ八月に斎行されている。

この祭典は、御祭神である、戦没英霊の慰霊と顕彰を目的として、境内に御遺族、崇敬者、企業団体から奉納を頂いた、提灯、灯籠に明かりを灯している。当社では、今年で六十六回目のみたま祭となったが、戦後七十七年が経ち、毎年の様に灯籠の奉納数が減少している。

この減少の原因として考えるとするならば、まず御遺族の高齢化による護国神社への関心が薄れた事である。

本県においては、戦没英霊の妻から遺児、その子供達に、慰霊の心が引き継がれていないの

である。この事は、日本遺族会が全国の遺族会に対して、孫を対象とした青年部の結成を呼び掛けたが、山梨県は青年部の結成を断念すると全国に向けて宣言している様に、この事からも慰霊と顕彰の心が他の都道府県と違い本県で引き継がれていない事が理解できるであろう。

企業団体においても、灯籠の奉納を筆者が出向きお願いしているが、戦後生まれの経営者等が増えた事で、話も聞いて頂けずに戦争に関わる神社と言われ門前払いをする企業も出てきている現状もある。

この祭典を通じ慰霊と顕彰の心を多くの県民に伝える為に、神社として、試行錯誤を重ねていかなければならないだろう。

現在は、マスメディアの影響や、生活習慣が昔と変わり、思考の多様性があるが、未来をになう若い世代に期待して話を納める事にする。

生出神社

宮 司 竹 俣 忠 洲

都留市の東部に位置する四日市場に鎮座し町の守り神として崇められている「生出神社」地元の人達には「おいでさん」の愛称で親しまれている。この神社の例祭は九月一日に催行されている。地元ではこの例祭を「おはっさく」と呼んでいる。旧暦八月一日の一ヶ月遅れである。

例祭日の前夜、例祭の準備ができましたという意味で宵祭りを催行するが、神楽と巫女舞の奉納も行う。宵祭式典終了後、地元四日市場の町中の何ヶ所かで地元の安泰を祈しつつ神楽と巫女舞の奉納も行っている。

神社の氏子は宮本の四日市場と旧谷村の七町と広範囲で変則的な形態があり二重氏子の町も何町がある。

例祭への参列者は宮本惣行司と七町の惣行司各町の総代、宮本各町の代表、祭典当番及び神楽奉納者代表と都留第二中学校

二年生の中から四、五名の巫子、並びに宮本祭典当番者の約六十名である。

惣行司とは例祭（八朔祭）に当たり祭儀を除き、一切を取り仕切る責任者であり重要な役職である。

例祭式典次第は他の神社と差異はほとんどないが、式典終了後、旧谷村七町の惣行司主催の居祭りを行うことである。

更に二十数年前に復活した大名列と屋台巡行を行う「ふるさと時代祭」と一体となり宮本神楽が先導して市中を巡回し都留市の安泰を祈願している。



総代広場 第十回

〈甲府支部〉

副支部長 乙 黒 洋

令和四年度山梨県神社庁甲府支部並びに甲府市神社総代会神職・総代神社関係者合同総会開催報告

去る七月六日、ベルクラシック甲府において、令和四年度山梨県神社庁甲府支部並びに甲府市神社総代会の、神職・総代・神社関係者の合同総会が開催されました。

午後一時より甲府支部神職総会が開催され、秋山支部長が議長に就き、令和三年度事業報告と収支決算報告について事務局より説明の後、花形監事より会計監査報告を戴き、異議無く承認されました。続いて令和四年度の事業計画案と収支予算案が事務局から説明され、異議無く承認されました。また、佐々木前山梨県神社庁副庁長の甲府支部相談役就任も承認され、神職総会を終了致しました。

午後二時より甲府市神社総代会・甲府支部神社関係者の合同

総会が開催となり、千野利雄甲府市神社総代会副会長の開会挨拶、神宮遙拝、国歌斉唱（CD演奏による心中唱歌）、敬神生活の綱領唱和と進み、次に小尾武甲府市神社総代会々長、続いて秋山支部長と挨拶があり、来賓代表として小佐野山梨県神社庁長より祝辞を頂戴した後に、来賓紹介となりました。

議事に入り秋山支部長の推挙により、小野俊之甲府市神社総代会副会長が議長に選出され、令和三年度事業報告、同年度収支決算報告を事務局より説明があり、その後秋山勝明甲府市神社総代会監事より会計監査報告を戴き、異議無く承認されました。続いて、令和四年度の事業計画案と収支予算案が事務局から説明され、異議無く承認されました。その後、前甲府市神社総代会中込豊秋会長の同総代会顧問委嘱の件が諮られ、承認されました。次に神道政治連盟山梨県本部、山梨県神社庁教化委員会、山梨県神道青年会、山梨県女子神職会から活動報告の後、七月十日投票の第二十六回参議院議員通常選挙山梨選挙

区の自由民主党公認候補である永井学候補の妻君 理恵氏が、これまでの選挙活動への御礼とともに、今後尚一層のご協力を頂戴したい旨を述べられました。

午後三時三十分よりは恒例の研修会として、ウクライナはハルキウ出身の山梨大学大学院教育マネジメント室職員 フォミチヨバ・クセニヤ先生より、「ウクライナ危機から、日本の安全保障を考える。」と題しての講演が催されました。クセニヤ先生からは、ウクライナが豊かな自然に包まれ、歴史と伝統を紡いできた文化、誇り高き国民性などの国柄を紹介した上で、現在ロシアによる侵略を受け、その風光明媚な自然や、貴重な数々の遺産が破壊されてしまう事、そして領土を侵される脅威に対し、国民一丸となって立ち向かっている現状を、切々とご講演戴きました。講演後には質問も多く有り、とても有意義な研修となりました。尚、本総会に於いて出席者から、ウクライナ支援に向けての義援金を募らせて戴き、多くの志が義援金箱

一杯に寄せられ、合計六万二千円にもなりました。その義援金は、先日ウクライナ大使館に送金致しました事を、此処に改めて感謝申し上げるとともに御報告させて戴きます。

そして、三年ぶりとなる懇親会が、クセニヤ先生も同席する中開催され、秋山支部長、小尾総代会長の挨拶に続いて、根津甲府支部顧問より祝辞が有り、中込甲府市総代会顧問が声高らかに乾杯の発声をされ、感染症対策に留意する中、和やかな宴が始まり、結びには小山利行甲府支部顧問の挨拶と手締めが行われ、全ての行事を納める事となりました。



〈峡中支部〉

支部長 内藤 正隆

隨身像修復について

八幡穂見神社は中央市布施（旧田富町の北）に鎮座します。本殿は檜皮葺の二間社流造で正面・側面二間、向拝二間と非常に珍しく、県の指定文化財となっておりま。

昨年、当神社の氏子から隨身門の像を修復したいとの話があり、総代とも協議し、隨身像の修復に着手する事となりました。氏子の話では、孫との散歩中に「何でこの人形（隨身像）には手や足が無いの」と問われ、非常に心が傷ついたとの事です。古くより隨身門に鎮座され、風雨に曝され朽ちても、神社をお守り頂いていた右大臣・左大臣の両神像、神社としては実害なく運営でき、むしろ社殿ばかりに気を取られておりました。

氏子の協力もあり、修復は身延山大学の仏教芸術専攻の柳本教授から卒業生を紹介され、その方が学生等と共に、作業を行う事となりました。

教授からは修復の難しさを教わりました。制作当時と同様に

復元すれば、煌びやかになってしまい、現在の社殿・隨身門に合わない。欠けた部分のみの修復だと「何も変っていない」と言われ、修復の程度を最新の技術で見極める事が非常に難しいとの事です。「まるで私は贋作者を養成しているようだ」といつも自問しているそうです。

解体中、思いのほか古い制作だと解り、文化財に申請するかどうかの話も出ましたが、もし指定されれば修復は出来なくなり、また、現在の隨身門に戻れなくなる可能性があると、協議の上、修復を優先し、今後、隨身門にて鎮座され、御神前、社殿は元より、氏子の皆様をも見守ってほしいとの意見で一致しました。

今年八月、両隨身像は素晴らしい御姿となって戻り、昨年の御霊遷しから十ヶ月間、寂しい隨身門に光が差し込みました。



祭典日程

11・24	富士吉田市松山松尾神社新嘗祭	11・21	甲府市愛宕町愛宕神社例祭
11・25	小淵沢町小淵沢北野天神社新嘗祭	10・22	身延町帯金八幡大神社秋季大祭
11・28	大泉町谷戸逸見神社新嘗祭	10・22	アルプス市吉田諏訪神社秋期例祭
12・3	大嶽山那賀郡神社新紅葉祭	11・3	武田神社御祭神生誕祭・明治祭
12・6	長坂町長坂上条穂見諏訪十五所神社	11・15	忍野村忍草浅間神社七三三祭
		11・19	村内野浅間神社七三三祭
			小室浅間神社室宮恵比寿例祭（二十日）
		11・20	甲府市高畑住吉神社秋季例大祭
		11・22	南アルプス市高尾穂見神社秋季例大祭（二十三日）
		11・23	住吉神社新嘗祭 甲府市宮前町八幡神社新嘗祭 甲府市国玉町玉諸神社新嘗祭 弓削神社新嘗祭 大月市駒橋三嶋神社新嘗祭 甲府市酒折酒折宮新嘗祭 甲府市湯田甲府恵比寿神社例大祭 勝沼町菱山古宮太神社秋季例大祭 身延町帯金八幡大神社新穀感謝祭 南アルプス市上今諏訪諏訪神社新嘗祭 南アルプス市小笠原笠屋神社新穀感謝祭 韮崎市六山町穂見神社新嘗祭 富士吉田市上暮地神明社新嘗祭 忍野村忍草浅間神社新嘗祭 忍野村内野浅間神社新嘗祭 高根町箕輪建部神社新嘗祭

厄神祭

12・25	長坂町長坂上条穂見諏訪十五所神社 新嘗祭・大祓式	12・30	甲府市宮前町八幡神社大祓 甲府市 愛宕町愛宕神社火伏祭	12・31	小室浅間神社師走大祓 稲積神社年 越大祓 甲府市国玉町玉諸神社大祓 甲府市東光寺山八幡神社大祓 長坂 町長坂上条穂見諏訪十五所神社除夜 祭 大泉町谷戸逸見神社大祓・年越 祭 忍野村忍草浅間神社年越大祓式 並びに除夜祭 忍野村内野浅間神社 年越大祓式並びに除夜祭 高根町箕 輪建部神社大祓		
1・1	大嶽山那賀郡神社元旦祭 市川三郷 町宮原浅間神社歳旦祭 甲府市高畑 住吉神社歳旦祭 増穂町天神中条天 神中条天満宮初詣・拝賀式 甲斐市 長塚長塚神社歳旦祭 中央市成島八 幡神社歳旦祭 中央市布施八幡穂見 神社歳旦祭 南アルプス市百々諏訪 神社歳旦祭 藤井町南下条福地八幡 神社歳旦祭 須玉町小倉八幡神社歳 旦祭 高根町長沢船形神社歳旦祭 忍野村忍草浅間神社歳旦祭 忍野村 内野浅間神社歳旦祭 富士河 口湖町 船津八王子神社歳旦祭 富士河 口湖町船津簡口神社歳旦祭 長坂町大 井ヶ森森山諏訪神社元旦祭	1・14	一宮町中尾中尾神社道祖神祭	1・15	一宮町中尾中尾神社道祖神祭	1・17	富士吉田市上吉田山神社春季例大祭 富士吉田市新屋山神社正月祭

神宮大麻をおまつり しましょう

ご希望の方には神棚を差し上げます



山梨県神社庁 TEL 055-288-0003



今後の予定

○神殿新嘗祭

初穂を供え、今年一年の収穫の感謝と喜びを神々に奉告する「新嘗祭」恒例による神事を下記により斎行致します。

記

一、日時

令和四年十一月八日（火）

午後一時三十分

二、場所

山梨県神社庁神殿



○新穀感謝祭

我が国の御親神、心のふるさとと仰ぐ「お伊勢様」。その限りない御神恩に感謝の真心を捧げ、「瑞穂の国」と称えられた我が国柄への思いを新たにすると新穀感謝祭は、本年度で六十八回を数えることとなりました。

本年も多くの皆様のご参列を得て、奉賛の喜びを共に致したく存じます。

記

一、日時

令和四年十一月十七日・十八日

（二泊二日）

一、神宮では御垣内にて特別参拝、参拝記念が撤下されます。

二、宿泊ホテル、行程、参加費は支部によって異なります、支部役員・神社宮司にお尋ね下さい。



神社庁
ホームページ

